



環境教育③～清掃活動開始～

前回に引き続き、1 学期に行った理科の授業について記していきたいと思います。

⑥ 【いよいよゴミ拾い…とその前に広報活動】



ポポンデッタには、NBC ラジオ局があります。そこで、教育局の方と一緒に出演してきました。目的は、「JICA ボランティアの活動の説明」と「清掃活動の周知」。私自身の自己紹介を簡単にし、理数教育を主に担当し、今回は理科の授業を生かした環境教育の一環で清掃活動を行うことを伝えました。ラジオの効果は絶大。多くの住民から JICA ボランティア活動や清掃活動の感謝の声をいただきました。

⑦ 【ポポンデッタ町清掃活動】

ポポンデッタ小学校から町にあるオロカイワマーケットという市場までの道のりを、2 時間かけて歩き、ゴミ拾いをしてきました。理科の授業や交流授業を通して、ポイ捨ての環境への深刻な影響を学んだおかげで、ゴミ拾い活動にも力が入っていました。校門を出たらすぐに、大量のプラスチックゴミがお出迎え。「プラスチックは土に分解されない」ことを学んだことから、小さなプラスチックゴミも見逃さずに拾っていました。町の清掃が主活動でしたが、町に到着する前にすでにゴミでいっぱいな袋が複数。町に到着すると、Urban LLG（ゴミ処理管轄部署）や教育局の職員、地域のボランティアを加えて総勢 100 人超でゴミ拾いを行いました。拡声器を使用して清掃活動の説明をしながら、町を歩き、ゴミを拾いました。その結果、多くの住民が清掃活動を目にすることになり、「町を綺麗にする」意識向上に少しでも繋がったと思います。子どもたちは普段の授業の何倍も生き生きと活動し、一所懸命に町を綺麗にしていた姿に感動しました。この活動を通して、「想像を超えるゴミの量」や「町を綺麗にする大変さ」を気づき、「ポイ捨てせずに、ゴミをゴミ箱に捨てる大切さ」を改めて学び、「自分たちの住む町を綺麗にしたい！」と一人でも多くの子どもが感じてほしいと思いました。



約 20 袋以上のゴミが集まりました。途中で破けてしまうほど、ゴミ袋がパンパンに…。ゴミは燃えるゴミ、プラスチック、リサイクル品（プラ容器、ペットボトル、缶）、生ゴミ（コンポスト用）に分別しました。
ゴミ袋・ゴム手袋・マスク・消毒液は、町の病院から寄付されました。ありがとうございます。





子どもたちの頑張りを労い中。見違えるほど綺麗になった…。しかし、これを持続することが大事…。

子どもだけではなく、Urban LLG 職員や保護者など地域の人々も、ラジオの広報を聞きつけ、手伝いに来てくれました。



拡声器を使用して、清掃活動に至った経緯やその意義と町を綺麗にしましょう！と伝えながら歩きました。



町には、ブアイジェルで赤く染まった汚いゴミや水たまりがたくさん。現地の子どもですら、このゴミを集めるのに抵抗していました。

⑧ 【3R's とコンポストについて遠隔授業】

同じ PNG で活動している隊員と Zoom を繋ぎ、遠隔授業をしてもらいました。ラバウルの環境隊員からは、「3R's」の説明があり、自分たちの生活ではこういった行動が 3R になるか考えました。物を再利用することで、ゴミの量を減らすなど、身近なことから始めようと考えています。ゴロカの農業隊員からは、「コンポスト」の紹介があり、生ごみを再利用して肥料をつくるメリットやその作り方を教えてもらいました。その後、実際に作成したトマトを栽培に使用する予定です。数日経つと生ごみが小さくなっていることに驚き、ゴミをもリサイクルすると、環境に役立てることができるものだと思いました。



ペットボトルを再利用して、花を作りました！

【お知らせ】



JICA の HP に活動の概要・写真と合わせて、PNG 海外協力隊だより (WANTAIM) 掲載。

<https://www.jica.go.jp/overseas/png/activities/155435914098.html>

『JICA 海外協力隊世界日記』

PNG の他隊員を初め、多くの派遣国での活動や生活の様子が分かります。ぜひ、読んでみてください！

[パプアニューギニア便り \(JICA パプアニューギニア事務所\)](#)

[JICA 海外協力隊の世界日記](#)



@bridge_png_jpn

(動画 & 写真見ながら、Instagram のアカウント)